



北のひろめーる

厚岸警察署 No.20

令和6年3月22日



小学生の交通事故の特徴

新入学児童、小学校低学年の子どもがいる保護者の皆様におかれましては、子どもが交通事故に遭わないよう、平素から家庭内における安全指導の徹底をお願いします。

過去5年間における、小学生被害の交通事故の実態について、まとめましたので、安全指導に活用していただければと思います。

歩行中の小学生が被害に遭う交通事故死傷者の特徴

小学生が被害となる交通事故は、毎年減少傾向にあります。過去5年の統計から、小学生が被害に遭う交通事故の特徴としては、

被害に遭う学年は **1年生が最も多い**
(全体の約7割が低学年(1年生から3年生))

交通事故は、**約6割が登下校中に発生**
登校時間帯(7時台)、下校時間帯(14時から15時台)

交通事故に遭う要因の**約4割が**
児童の飛び出し、横断違反、信号無視など
の交通ルールを守らないことが原因で交通事故が起きていることがあげられます。

交通事故は、横断歩道の有り無しに関わらず**交差点**での発生が特に多いです。

保護者の皆様へお願い

小学校低学年の子どもは、注意力が散漫になり突発的な行動をしたりと、道路上の安全確認を怠りがちです。

子どもが交通事故に遭わないようにするには、子どもの交通安全意識を醸成することが大切です。

警察でも交通安全教室などの啓発を教育機関と連携し、実施しておりますが、家庭内でも、子どもに対して交通安全に関する教育をして頂き、子どもの交通安全意識の向上を図るようお願いします。